

授業科目	教育心理学特論		担当教員	針塚 進	
展開方法	講義	単位数	2単位 選択	開設時期	後期
<b>【授業目標】</b>					
<p>教育心理学の領域でも、特に学級適応・学校適応の問題を取り上げ、教授・学習、認知発達及び社会性の発達の視点から論じ考察する。さらに、学級適応の問題を通常学級に在籍する特別な教育的支援を要する子どもへの援助のあり方についても考える。</p>					
<b>【授業方法】</b>					
<p>(1) まず、教授・学習過程、認知発達、社会性の発達等に関する基本的な理論や考え方等を講じるとともに検討する。</p> <p>(2) 次に、小・中学校における学級不適応・学校不適応を示す児童・生徒の問題についての具体的事例等を提示する。それらを通して不登校問題、非行問題、いじめ問題などに通底する教育心理学的視点について講じるとともに受講生との討論によって理解を深める。</p> <p>(3) 通常学級に在籍する特別な教育的支援を要する児童生徒の事例を提示し、これらの児童生徒への支援の方法とについて講じ、また実際について受講生が経験することも行う。</p>					
<b>【授業計画】</b>					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学校における教授・学習過程</li> <li>2. 子どもの認知と情動の発達</li> <li>3. 社会性の発達と対人関係</li> <li>4. 学校（学級）への適応と不適応事例</li> <li>5. 学校（学級）への適応と不適応事例</li> <li>6. 学校（学級）への適応と不適応事例</li> <li>7. 特別な教育的支援を要する児童生徒の問題性</li> <li>8. 特別な教育的支援を要する児童生徒への対応</li> <li>9. 教育的支援を要する児童生徒の対人関係のあり方の実際</li> <li>10. 児童生徒の対人関係のあり方への支援の実際（親和的關係づくり）</li> <li>11. 児童生徒の対人関係のあり方への支援の実際（子どもの自己表現と自己理解）</li> <li>12. 児童生徒の対人関係のあり方への支援の実際（子どもの他者理解）</li> <li>13. 児童生徒の対人関係のあり方への支援の実際（子どもへの指導のあり方）</li> <li>14. 児童生徒の対人関係のあり方への支援の実際（子どもへの指導のあり方）</li> <li>15. 総合的考察</li> </ol>					
<b>【評価方法】</b>					
<p>授業への参加度50%、レポート50%</p>					
<b>【教科書・参考書】</b>					
<p>教科書 授業の中で提示する。</p> <p>参考書</p>					
<b>【学生に期待すること】</b>					
<p>講義と実習を行うので、意見を求め討論および実習的要素も多く取り入れるので好奇心と積極性を持って参加されたい。また、シラバスを参考にして講義内容に関する事項および参考文献などを調べておくこと。さらに、授業後は授業内容を振り返り、関連する文献を検索し検討すること。</p>					